



戸村 ひとみ 議員



### 「地域で子どもを育てる」 の意味について

**問** 飯岡中学校が海上中学校に吸収される計画に反対の立場での質問。市の学校教育方針のスローガンは「地域で子どもを育てる」。この「地域」とは何を意味するのか。旭市は1市3町が合併して、地域ごとに違う文化がある。この地域性が違う中で、学校統廃合と地域学校協働活動に整合性を持たせることができるのか。「地域で子どもを育てる」とはどういうことなのかを本気で考えるべきだと思っが。

**答** 地域で子どもを育てる意味については、地域学校協働活動を通じて子どもたちが信頼できる大人と多く関わりを持ち、愛情を注がれることにより、自己肯定感や他人を思いやる心など豊かな心を育むことができる。地域の人に支えられ、学んでいくことで、地域への愛着や地域の担い手としての自覚が育まれ、学びへの意識

### 学校給食完全無償化について

の向上が学力の向上に資することも期待されている。地域学校協働活動の事業に参加している子どもたちは、コミュニケーション能力や地域への理解・関心が高まる傾向があるとも言われており、活動に参画する地域住民の生きがいづくりや地域の教育力の向上や活性化につながることも期待されている。

**問** 『長岡市米百俵財団』と同じく、子育て支援に特化した財団の創設をイオンタウンに、市長から要望していただきたい。イオンタウンには旭市から、誘致時に5億円、さらに毎年約1億3千万円の指定管理料と家賃(おひさまテラス・イオンタウン旭2階)が30年契約で支払われている。市が賃借しているこの施設は、イオンタウンの集客に貢献している。市とイオンタウンの共存のために、イオンタウンに『子育て財団』を創設してもらい、旭市への寄付をお願いし、学校給食完全無償化の財源としてはどうか。

**答** 意見として承る。

その他の質問事項  
○ 関係人口を増やす取り組みについて

## 議会運営委員会視察

委員会では、所管する事務に関する調査等のため、他の自治体の先進的な取り組み等について、行政視察を行っている。

7月26～28日 議会運営委員会で大阪府岸和田市・京都府八幡市等の行政視察を実施

### 岸和田市・八幡市の取り組みや施設を視察

#### 大阪府岸和田市(視察内容：議会のICT化について)

岸和田市議会では旭市議会で今年度導入するタブレット端末を活用したペーパーレス会議システムを2020年に導入している。紙・印刷費用の削減に加え、資料が変更になった場合の差し替え等、作業工数の削減、合理化により効率的な議会運営が行われている。

タブレット端末の使用の範囲や故障時の対応、情報の漏洩対策等について、現在の運用状況を学ぶことができ、今後の旭市議会でのタブレット端末の導入にむけて参考になった。

#### 京都府八幡市(視察内容：生涯活躍のまちについて)

八幡市では、市民が意識せずとも健やかで幸せに暮らすことができるまちの構築を目指し平成30年3月に「やわたスマートウェルネスシティ計画」を策定した。

計画に基づき、歩くことを中心とした健幸づくり活動に対してポイントを付与するインセンティブ事業や、AIを活用した健幸課題分析や施策立案を行うことができる健幸データ分析システムの導入等の先進的な取り組みを行っており、今後の健康づくりの推進の参考になった。



議会のICT化について説明を受ける



健幸まちづくりの今後の展開を伺う

#### その他の視察地

- さかい利晶の杜
- 京都市市民防災センター